

平成22年度
事業報告書

社会福祉法人
筑前町社会福祉協議会

平成22年度 筑前町社会福祉協議会事業報告書

総括的概要

少子化・高齢社会の進展で社会構造も変容し、総合扶助や地域活動への参加意識の希薄化が進み福祉のあり方も変化してきています。

地域に密着した福祉サービスに重点を置き、地域生活の質を高めることを目的としたサービスを、行政・区長・民生委員・児童委員・老人会・ボランティア等との連携を図りながら、地域社会に求められる社協、信頼される社協を目指して福祉事業の推進に努めてまいりました。

また、厳しい財政状況にある中、社協事業の今後のあり方についての課題を抱えながらも、効率的な事業の運営に努めてまいりました。

その他の福祉事業においても、ボランティア団体等の役割が重要視されています。ボランティア連絡協議会を母体として、活動の拡大を推進するとともに、団体等の育成・支援を行ってまいりました。

事項別状況

1. 法人運営

(1) 役員会の開催

名 称	期 日	内 容
監査	平成22年5月17日	・平成21年度監査
理事会 評議員会	平成22年5月25日	・理事・評議員の補欠就任について ・平成21年度事業報告について ・平成21年度収支決算について
理事会 評議員会	平成22年8月25日	・理事・監事・評議員の補欠就任について ・平成22年度赤い羽根共同募金運動事について ・平成22年度歳末たすけあい運動について ・平成22年度敬老の日記念品贈呈について
監査	平成22年12月20日	・平成22年度前期監査
理事会	平成23年 2月 9日	・理事・評議員の補欠就任について ・理事・監事・評議員選出規程に基づく選考委員の選任について ・庶務規程の改正（案）・役職員等の旅費支給規程（案）及び規則（案）について
理事会 評議員会	平成23年3月22日	・福祉委員の補欠就任について ・育英就学資金について

		<ul style="list-style-type: none"> ・筑前町社会福祉協議会役員選出委員会報告について ・平成22年度補正予算について ・平成23年度事業計画（案）について ・平成23年度予算（案）について
--	--	---

(2) 福祉部会

全体福祉部会 平成22年 6月30日

各部会の役員選出・事業計画

青少年部会 平成22年 8月 6日

小中学生福祉施設ふれあい体験学習の中止にともない青少年福祉事業について

民生部会 平成22年 8月20日

平成22年度赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金について

保健部会 平成22年 8月27日

障害者福祉大会、介護者のつどい、重度障害者遠足会等について

2. 高齢者福祉事業

(1) ふれあいいきいきサロン

70歳以上の在宅高齢者を対象に、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように地域のみんなが支えあい、共に元気で楽しく一日を過ごすことができる場所づくりを推進し、高齢者の社会参加の喜びや、健康維持ができる体力・活力を養うことを目標として行いました。

① 実施状況

- ・実施区 34地区
- ・会員数 1,029人
- ・延べ実施回数 353回
- ・延べ参加者数 6,914人

〈平成22年度区別実績と会員数〉

単位：人

区名	男性	女性	合計	ボランティア	開催回数	参加人数
大塚	4	16	24	4	10	162
弥永	7	20	28	1	9	194
依井	12	23	38	3	12	297
依井二	3	29	48	16	13	378
高田	18	22	40	0	11	228
新町	27	25	52	0	7	170
野町	4	16	20	0	8	131
原地蔵	5	10	17	2	8	106

久光	0	20	34	14	11	237
栗田	0	24	37	13	8	218
森山	8	17	30	5	7	133
当所	1	12	21	8	11	160
上高場	7	12	31	12	12	298
大久保	7	13	23	3	4	47
山隈	3	31	36	2	9	214
高上	1	14	18	3	13	191
朝園	8	21	47	18	13	356
下曾根田	6	12	18	0	9	110
砥上	0	23	25	2	12	241
松延本村	9	14	23	0	12	231
松延新道	3	15	18	0	7	84
中牟田村	7	15	39	17	11	238
朝日東	4	17	23	2	12	198
朝日西	16	27	43	内10	10	276
篠隈	3	31	52	18	11	325
篠隈新道	4	13	34	17	12	277
東小田下	3	15	20	5	11	150
福島	13	24	43	6	13	319
四三嶋	4	16	20	0	11	147
二	7	18	27	2	12	204
石櫃	2	12	15	1	12	85
下高場	21	25	58	9	12	293
吹田	4	5	11	2	11	87
東小田上	4	7	16	5	12	163
合計	222	614	1,029	193	353	6,914

*開催回数と参加人数には、合同サロンの実績を加算しています。

○小学生との交流会

夏休み期間中にPTA等の協力により8地区が小学生との交流会を実施しました。
 創作で、「ひっくり蛙」を作りサロン会員さんと小学生でゲームを行いました。
 小学生、PTA含む 参加者 207人

○健康講座について

各サロンに健康講座を取り組みました。

- ・食事教室 7地区
- ・口腔ケア教室 10地区
- ・認知症サポート養成講座 7地区
- ・安心・安全について 6地区

○ 野外活動

春や秋に花見などの野外活動を行いました。

<キリンビール花見>	24地区	<夜須高原自然の家>	4地区
<大刀洗平和記念館>	15地区	<炭焼き公園>	1地区
<ファーマーズみなみの里>	4地区	<上高場大藤>	1地区

② ふれあいいきいきサロン代表者会議

各区のサロンが円滑に継続できるように年3回実施しました。

期 日	参加者	内 容
4月30日	65人	・22年度年間計画・助成金交付
10月29日	60人	・前期活動報告（4月～9月） ・合同交流会について
3月7日	49人	・22年度事業報告及び23年度事業計画について ・石櫃区と森山区の代表より活動報告

③ ふれあいいきいきサロン指導員研修会

○ ふれあいいきいきサロンで18人の指導員が活動しています。

福岡県レクリエーション協会の佐藤靖典氏を招き「楽しいレクリエーション」のテーマで研修会を開催しました。

11月15日	12人参加	・	12月20日	16人参加
1月17日	15人参加	・	2月21日	16人参加

○ 福岡県社会福祉協議会主催の「いきいきサロンで元気高齢者セミナー」が開催され参加しました。

平成23年 3月 1日（火） 福岡国際会議場 10人参加

④ ふれあいいきいきサロン合同交流会

他地区の会員との親睦と、地域の連携を深めることを目的に合同交流会を開催しました。

1班	12月 2日（木）	篠隈公民館	6区	121人
2班	12月 6日（月）	めくばり館	8区	167人
3班	12月 9日（木）	篠隈公民館	9区	158人
4班	12月13日（月）	めくばり館	9区	187人

(2) あじさい会（独居老人のつどい）

70歳以上の一人暮らしの方を対象に、閉じこもりの解消、生きがいつくり、交流を図る事を目的に開催しました。

・平成22年7月29日（木）

健康課の協力で女性センターに於いて、開催しました。

鼻地三郎先生を講師に招き、104歳が実践する「習慣健康法」の棒体操と黒田節の踊りを披露して頂きました。

参加者 あじさい会 59人 老人部会 13人 その他4人

計 76人

・平成22年10月4日(月)

飯塚市の旧伊藤伝衛門邸と嘉徳劇場へ出かけました。

参加者が多く3台のバスを利用し、道中は懐かしい歌を合唱し昔を思い出しながら楽しいひと時を過ごされました。

参加者 あじさい会 72人 老人部会等 13人 その他4人

計 88人

(3) 敬老の日記念品贈呈

敬老の日の祝いとして、白寿(99歳)と米寿(88歳)になられた方に記念品代として、商品券を贈りました。

白寿 13人(10,000円) 米寿102人(5,000円)

(4) 金婚祝賀会

平成22年11月22日(水)女性センターにおいて今年結婚50年を迎えられた新会員13組を会員みんなで祝いました。 総人数62人

3. 青少年福祉事業

(1) 小・中学生福祉施設ふれあい体験学習

*町内でインフルエンザ感染者が確認されたので中止させていただきました。

日程を決めて、参加者もそろい明日から開催という時のインフルエンザでした。

参加予定者 小学生 55人 中学生 57人

(2) 電動車椅子サッカーチームとの交流会

上記、小・中学生福祉施設ふれあい体験学習が中止のため、「SAGAサムライFC」チームとの交流会を開催しました。障がい者とのコミュニケーションをしたり、電動車椅子に乗ったりなど、日頃できない体験をしました。

8月27日(金) 東小田小学校体育館

電動車椅子サッカーチーム 当事者 5人 ・ 介助者 5人

部会10人 ・ 小学生14人 ・ 中学生 9人 ・ 社協 4人

(3) 社会福祉協力校への支援

学校の福祉教育への協力を行いました。

東小田小学校 3年生 1月26日(水) 点字学習

三並小学校 3年生 2月4日(金) 高齢者体験・アイマスク体験

3月2日(水) 車椅子利用者との交流会

3月11日(金) 点字学習

三輪小学校 3年生 2月17日(木) 車椅子体験・アイマスク体験

(4) 公共機関を使って外出しよう!

公共交通機関を使って移動することを目的に開催しています。

平成23年3月26日(金) 目的地 「かしかえん」

参加者 小学生 19人 ・ 部会等 9人

西鉄のカード「ニモカ」を利用して、バス・電車・地下鉄を乗り継ぎ行きました。

(5) 子育てセミナー（福岡県地域福祉財団助成金）

子どもの行動に「なぜ？」が付いてくることが多く見受けられます。原因はいろいろと考えられますが、障がいの対応を視野に入れて、子育てを地域みんなの課題と捉え保護者の支えになれるような支援者を増やすことを目的としています。

「子どもの自立って？」 「発達障がいとは？」 「学童保育を考えよう！」

講師： 天使幼稚園 園長 早川成さん

「みんなで遊ぼう！」 講師：福岡県レクレーション協会 大嶋賀代子さん

会場 公民館支館 4回合計参加者 40人 託児 9人

4. 障がい者（児）福祉事業

障がい者（児）の自立と社会参加の促進、各種行事の参加推進を行い、交流の機会をつくりしました。

(1) 筑前町障がい者福祉大会

在宅障がい者が地域における社会参加の必要性を考え、障がい者同士の交流を深め、情報提供の機会を提供することを目的に開催しました。

・平成22年11月9日（火） 女性センター2階ホール

内 容：「体験発表」「簡単にできる体操」「レクリエーション」

参加者 74人

(2) 重度障がい者遠足会

日頃一人での外出が困難な重度障がい者を対象に、外出の機会づくりと障がい者間、世代間の交流を目的に開催しました。

・平成22年11月15日（月）

菊花展（宗像大社） 参加者 29人

(3) 在宅介護者のつどい

在宅で介護している介護者の情報交換の場となり、同じ悩みをもつ者同士が交流し日頃の疲れをリフレッシュする事を目的に開催しました。

・平成22年6月18日（金） 参加者 39人

・在宅介護、認知証の対応について

・平成22年10月21日（木） 参加者 20人

・在宅介護、認知証の介護について意見交換会

・平成22年3月11日（金） 参加者 22人

・交流会 筑後川遊覧、北野温泉

(4) 車椅子等の福祉機器貸し出し

年間実績 車椅子 48件 電動ベッド 21件

5. ボランティアの育成、支援事業

(1) ボランティア連絡協議会との連携

ボランティア連絡協議会運営委員会を中心に各グループ間の交流や、お互いの

活動の理解を図り、グループを超えたネットワークの形成を図りました。

年間4回 運営委員会を開催し、各グループの活動や問題点などの共有や、他機関からのボランティア要請などの情報を提供しました。

(2) 筑前町ボランティアのつどい

ボランティアの研修と啓発を兼ねて開催しました。町との意見交換ができたつどいでした。

平成23年 2月 6日(日) 公民館支館 参加者 93人

(3) 地域活動講座(ボランティア入門講座)

要約筆記奉仕員基礎講習会を開催しました。

7月～11月の毎週金曜日(全16回) 修了者 6人

聴覚障害者だけではなく、高齢者にもやさしい情報保障をしていただく方を養成しています。

(4) 手話講座

聾啞者を講師に、手話の会が通訳として手話講座を開催しました。

5月11日(火)より10月までの半年間、毎週開催しました。今年度は、4人が修了証を受けられ、次の段階にチャレンジされています。

(5) 福祉レクリエーション教室

ふれあいいいききサロンで活躍しているボランティアや、レクリエーションに興味のある方に、地域で一緒にサロンの展開を行うことを目的に、「国際ボランティアを育てる会」代表の里川径一さんを講師に招いて開催しました。

10月19日(木)公民館支館・20日(水)めくばーる

「笑顔いっぱい支え合いのサロン活動」 参加者36人

10月26日(木)めくばーる・27日(水)公民館支館

「元気はつらつ健康長寿のサロン活動」 参加者38人

(6) ガイドボランティア講座

6月9日(水) 「ガイド実地研修」 参加者 14人

朝倉市「音楽館」「共星の里」へバスを利用し、移動介助・食事介助の学習。

9月3日(金) 「障害者レクリエーション」 参加者 18人

講師：県盲人協会事務局長 江上陽一郎さん

コミュニケーションを重視しながら介護予防にもなり、楽しんで行えるレクリエーション学習を行いました。

6. 母子・父子・寡婦福祉事業

○白百合会のつどい

夫と死別又は離別された当時15歳以下の子どもを扶養され25年以上経過された寡婦の方々が会員となり、苦労話をまじえながら交流を行いました。

平成23年3月3日(木) 女性センター

体験談・講話・交流会(演芸) 新会員 0人 参加者45人

7. 受託事業

(1) 敬老館運営管理事業

一般住民及び高齢者に、教養の習得・レクリエーション等のための場を提供することにより心身の健康増進を以って福祉の向上を目的としています。

①入館者数

	年 間
会館日数	300
入館者数	13,460

- ・平成22年5月28日篠隈保育所との交流会
- ・平成22年4月14日と8月4日に、演芸ボランティア「もやいの会」・平成23年2月3日「曙舞踊ショー」が来館して、カラオケや舞踊などの演芸を披露されました。
- ・娯楽室（大広間）の畳が新しくなりました。

② カラオケ、訓練器具利用状況

	カラオケ		訓練器具		
	町内	町外	ハッピー ライフ	太陽灯	ホクシン ヘルサー
年 間	446	1	151	4	493

(2) 敬老館食堂事業

食堂の活性化を図るために、利用される方にアンケートを実施しました。

みなさんの声をもとに、季節の食材を使った日替わり弁当や新しいメニューを増やし、より多くの方に利用していただくよう工夫しました。

また、サロンや団体の予約を受付けて売上げの向上に努めました。

月間売上実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上額	434,100	376,200	412,550	438,550	348,300	448,400
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
売上額	394,750	442,560	350,430	383,310	409,230	461,200
					合 計	4,899,580

(3) 福祉配食サービス事業

食事を作ることが困難な高齢者や障がい者に対して、（昼食、夕食）の弁当を届けると共に、利用者の安否確認を行いました。（自宅で永眠されている利用者の第一発見者となりました）

社協職員が定期的に利用者宅を訪問して給食に対する意見や状況確認などを行っています。

毎月10日・11日を集金日とし利用者宅を訪問しています。

福祉課主催の調整会議などの各種会議へ参加し利用者の状況等を関係機関で検討しています。

（給食ミーティング・・・月1回 調整会議・・・月1回 介護予防会議・・・月1回）

配食サービス実績（配食日数 361日）

	延べ人数	月平均人数	食数
昼食	338	29	7,091
夕食	807	68	19,202
合計	1,145	97	26,293

(4) 放課後児童健全育成事業（学童保育運営）

①入所児童数

単位：人

	みわっ子SUN ² クラブ		のびのびクラブ		すくすくクラブ	
	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り	4月初め	3月終り
1年	26	23	26	29	11	9
2年	16	15	16	12	13	9
3年	7	6	16	8	10	4
4年以上	3	0	3	1	3	3
合計	52	44	51	50	37	25

②夏休みのみ受け入れ

のびのびクラブ 1人 ・ すくすくクラブ 8人

③保護者会・役員会等の開催

各学童で行われている保護者会や、保護者役員会への参加 14回

保護者会連絡会の開催 11月19日（金） 3学童役員

（学童内の問題点などを説明し、今後のより良い運営のために保護者の意見を伺いました。）

保護者会によるアンケートの実施

④指導員の育成

・指導員全体ミーティング 6回開催

・研修 社協独自「障がい児への対応」 11人参加

子育てセミナー 9人参加

放課後子どもプラン研修会 2人参加

福岡県学童保育連絡協議会研修 3人参加

(5) コミュニケーション支援（筑前町手話・要約筆記奉仕員派遣事業）

障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障がい者等に手話通訳者等の派遣を行いました。

利用登録者 12人 通訳登録者 10人 利用実績 42件

(6) 障害者相談支援事業

障がい者や介護者等からの各種相談に応じ必要な情報提供や助言を行いました。

① 相談業務

(利用者数) 精神46件 ・知的47件 ・身体159件 ・その他8件
 男性 149人 女性 111人
 延べ総数 260件

② 障害程度区分認定調査

区分 42件 ・在宅継続 40件 ・旧入所 5件
 総計 87件

8. 相談事業

(1) 心配ごと相談

日常生活の悩みや心配ごとの相談窓口として、他の公的機関との連携を図り問題解決に努力しました。

- ・ 毎月第1、第3金曜日の午後1時30分から午後4時まで、コスモスプラザ保健館の相談室で実施しています。
- ・ 相談員 民生委員 4人 調停相談員 4人 人権相談員 7人
 行政相談員 2人 母子相談員 1人

相談実績 50件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	4	3	6	6	6	5	2	4	2	5	5	2	50

相談内容事項ごとの解決状況

相談内容事項	相談件数	解決内容				
		解決	再来	民生委員	他機関	その他
生 計 (生活保護申請、生活費)	5			1	4	
年 金	1	1				
生 業・職 業	0					
住 宅	5	1			4	
家 族 (息子夫婦との関係)	3	2	1			
離 婚	3	1			2	
健康・衛生	1	1				
医 療	1			1		
精神衛生	1				1	
財 産 (遺産相続、境界)	10	2			4	4
児童福祉・母子保健	0					
教育・青少年	0					
心身障害者(児)福祉	0					
老人福祉	3	2		1		
苦 情 (隣接者の木の茂り)	3	1			2	
その他 (農地、税金、認知症、保証人、土地、施設入所、借金、不倫)	14	3			10	1
合 計	50	14	1	3	27	5

(2) 相談員研修会

福岡県法律相談合同研修会

平成22年10月26日(火) 福岡県吉塚合同庁舎

「遺言、遺産分割～相続を巡る諸問題」

福岡県弁護士会 池田 耕一郎 氏、 相島 哲生 氏

相談員 2人 社協職員 1人

両筑地区心配ごと相談員研修会

平成23年3月14日(月) うきは市総合福祉センター

「現在の多重債務問題の現状とその対応について」

財務省 福岡財務支局 専門相談員 愛知 ゆみ 氏

心配ごと相談員(民生委員) 3人 社協職員 2人

心配ごと相談員研修会

平成23年3月29日(火) コスモスプラザ 会議室1. 2

「児童虐待の理解と対応について」

福岡市子ども相談対策課 課長 川浦 龍生 氏

心配ごと相談員 14人

(3) 日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)

認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が不十分なため、日常生活に困っている方に、福祉サービスの利用や日常金銭管理のお手伝いをします。

平成22年度利用者 1件

日常生活自立支援事業生活支援員研修会

平成23年3月3日(木) クローバープラザ

「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために」

身体障害者療護施設 大地の森 生活支援員 田原 豊治 氏

生活支援員 1人 社協職員 1人

9. 貸付事業

(1) 福岡県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業

平成22年度貸し付け申込相談件数 29件

貸付決定 教育支援資金 3件

福祉支援資金 1件

総合支援資金 4件

緊急小口資金 5件

計 13件

10. 共同募金事業

○赤い羽根共同募金運動

毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その共同募金は、福

岡県共同募金会に納金後、筑前町社会福祉協議会に配分金として配分されます。配分金は翌年度の事業費として、地域福祉活動の貴重な財源となっております。

募 金 額

募金内訳	目 安 額	実 績 額	内 訳
戸別募金	5,065,800	4,695,600	51区
企業募金	1,600,000	1,503,148	350件
個人募金	800,000	732,630	280件
学校募金	20,000	35,691	町内小中学校
団体募金	600,000	499,394	老人クラブ 483,240円 その他 16,154円
資材募金	647,500	582,000	バッジ 38個 ネクタイピン 18個 図書カード 205枚 クオカード 340枚
その他募金	60,000	77,103	街頭募金 44,774円 どんとかがし祭り 26,389円 窓口募金 5,940円
募金総額	8,793,300	8,125,566	資材原価 (299,640)

○歳末たすけあい募金運動

歳末たすけあい募金には、毎年町民の皆様から多額の募金をお寄せいただいています。その配分金は、新たな年を迎える時期に援助や支援を必要とする人々が、地域で安心して新年を迎えられるように支援する貴重な財源となっております。

募 金 額

募金内訳	目 安 額	実 績 額	内 訳
戸別募金	2,532,900	2,123,214	51区

○歳末見舞金

皆様からいただいた募金は、真心のこもった贈り物として、「見舞金」として次の方々に贈りました。

また、地域福祉・障害者施設支援事業にも役立たせていただきました。

①見舞金贈呈事業

対 象 者	件 数	金 額
独居老人（80歳以上）	151	755,000
身体障害者1級	75	375,000
療育手帳保持者	10	50,000
計	236	1,180,000

②地域福祉・在宅福祉サービス事業

対象事業	件数	金額
障害者共同作業所等支援事業	6	310,000
福祉機器無料貸出事業	7	189,000
子育て支援事業	1	180,000
バス停留所整備事業	5	264,214
計	19	943,214

1.1. 広報活動の推進

社協の事業を広く町民にお知らせし、福祉事業への理解と支援をお願いするために様々な情報提供を行いました。

- (1) 町が発行する「広報ちくぜん」に毎月情報を掲載しました。
- (2) 「ちくぜん社協だより」を年5回発行し福祉事業内容の紹介や情報提供を行い啓発に努めました。
- (3) 赤い羽根共同募金については、チラシを作成し全家庭に配布をしました。募金の使途、活動の理解とご協力をお願いしました。
- (4) 心配ごと相談や各種つどいの開催等の案内を町内放送にて適時に行い情報の提供、参加の呼びかけを行いました。